



# 12月定例会・児童生徒傍聴



能登半島地震により被災された皆様方に心よりお見舞いを申し上げます

昭和村議会議員一同

## CONTENTS

村政を問う	2～8
議案審議	9～10
地区要望	11
常任委員会活動	12
議員の通信簿	13～15
小中学生議会傍聴	16

発行／昭和村議会

編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044

# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問  
馬場 栄三 議員



Q 国道400号下  
中津川地内バイ  
パス化を図れ

されており大型ダンプの通行量が著しく増えている。歩道未設置箇所は危険を感じていると認識する。

問 博士トンネル開通後、1日交通量について伺う。

問 下中津川地内バイパス化が必要と考えるが。

村長 開通から約2ヶ月間の交通量は、1日当り760台で県の予想600台を上回った。

問 下中津川地内道路状況の認識を伺う。

村長 道路管理者である会津若松建設事務所及び宮下土木事務所住宅近辺の安全運行の徹底を依頼した。バイパス化は道路管理者の県と協議し判断したい。

村長 工用土砂が金山町小栗山工区へ運搬



下中津川区長事務所前のカーブ区間は幅員が狭く、車両が鋼製ポールに衝突する事故が多く発生している。

Q 水稲共同防除について



無人ヘリコプター業者の(株)スカイテックは会津全域を担当しており日程変更課題がある。

問 本年産米の品質について伺う。

村長 令和5年産米の品種別等級はコシヒカリ一等米が100%、ひとめぼれについては99.3%、里山のつぶについては100%、モチ米については二等米比率が87.5%であった。



問 適期の防除期について考えを伺う。

産業建設課長 適切防除(8月上旬〜中旬)が重要と考えるが、一般的には1回目の防除、出穂期の3日〜10日後頃、2回目を1回目散布から7日〜10日頃までに行うことが防除期と考える。田植え時期や品種、肥料、農薬に違いがあり、昭和村病害虫防除団会議の中で決定している。現在の防除体制は日程変更時に課題があるが、議員提案の適期を考慮し要望していく。

## 議員に聞いてみた

この質問の理由(背景にある現状など)は?

・国道400号下中津川地内、阿久戸地内から村営住宅入口にかけて国道幅員が狭い。大型車輛同士のすれ違いや乗用車とのすれ違いが危険である。特に下中津川区長事務所近くが特に危険。博士トンネル開通による通行量が増えればバイパス化が必要。  
・防除の基本は適期に行う事です。当村の標準出穂期は8月上旬、イモチ病箱施用効果が7月という事を考慮すれば1回目散布期は8月上旬それから約2週間後2回目適期と考える。米価低迷し農薬代も高価な事を考えれば8月2回散布が必須と考える。

# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問

栗城 徳雄 議員



**Q** ライトトラップ等の昆虫捕獲を規制する条例の制定について

**問** 9月16日夜、村道大芦田島線でライトトラップによる昆虫捕獲が行われたという事件が起こった。捕獲を規制する条例をなぜ制定しないのか？

**村長** 近隣町村では、先行して只見町が条例を制定し必要性は十分に理解している。

大量捕獲するライトトラップの規制条例制定に向け、生態調査など準備を進めたい。

**問** ナラ枯れが広がり、貴重な昆虫類に少なからず影響するだろうと心配する声が聞かれ、追い打ちをかけているが村長の考えは？

**村長** 村内ナラ枯れ被害対策として、駆除か

ら防除へ方針の転換を行い森林の範囲を定めて健全な立木を集中して守る対策が必要。既に村の民有地でナラ枯れが発生した場合に伐倒し焼却の予算化をした。また、矢ノ原湿原の代官清水の向側辺りの国有林野内では粘着シートでの被覆対策を講じている。

**Q** 博士峠バイパス開通に伴う施設等の整備及び総合的交通体系について

**問** ウオーキングコース等を整備し活用する提案をしたいが、村長の考えを伺う。

**村長** 村民から国道401号博士峠現道を活用したウオーキング大会を企画したいと相談を受けた。具体的な方針が決まりしだい村としての支援を検討したい。

なお、ブナ林内のハロー的な整備は林野庁など関係機関と協議を



国道401号博士峠旧道は村道に移管予定

行い地域の方々と連携を図り整備・活用をめぐる。

**問** 会津若松への需要は把握されたのか。その結果は？

**村長** 令和3年3月に満12歳以上を対象とした公共交通に関するアンケート調査を実施した結果は、

・通院先は村内国保診療所を除くと会津若松市が最も多く、次に会津坂下町、南会津町の順。  
・通勤通学先は、村内を除くと金山町は最も多く、その次に会

津若松市、その次に南会津町の順。

**問** 総合的交通体系を早々に樹立する必要性について、村長の考えを問う。

**村長** 地域にとって望ましい地域旅客運送サービスのを明らかにするマスタープランとしての役割を果たす地域公共交通計画を令和6年度に策定を計画している。

議員に聞いてみた

この質問の理由（背景にある現状など）は？

「ライトトラップ等での昆虫捕獲を規制する条例の制定について」は4年前の9月及び12月定例会において条例制定を求めたが村長には聞き入れてもらえず、4年が経過した今年、ライトトラップによる昆虫捕獲事件を引き起こしたことから、再度条例制定を提案した。

「博士峠バイパス開通に伴う施設等の整備及び総合的交通体系について」は旧道活用への交通手段を含め、村内全地域での足の確保について総合的に考える必要があることからの質問です。

# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問

小林 政一 議員



Q からむしと大麻の生産について

問 振興公社からむし部門の問題はないのか。世間では、原麻在庫は100年分ほどあると聞いたが？、村長は公社社長としてどう考え、経営的にどういう方向を目指すのか。

村長 平成27年に村が振興公社から買い上げ令和5年12月現在の在庫は144貫144匁(540・54キログラム)。村として平成29年度昭和村からむし後継者育成協議会が設立され糸づくりや機織りの後継者育成、新たな商品開発、需要開拓が必要と認識している。

問 大麻生産では、今後、在来昭村の種が消えてしまう恐れがある。からむし、カスミソウへの補助金は十分あるのに、日本の天皇家もしくは日本に関する生産文化的なものに対して疎かではないか？

村長 在来種の保存や栽培技術の継承が重要と考えているが12月6日に大麻使用禁止を盛り込む改正大麻取締法が衆議院で可決成立しており、この法改正に伴う関連情報の収集に努め、国県の動静に注視して慎重に対応したい。



Q 若い人から単身用住宅が不足している。建設して欲しいとの声がある。人口が緩やかな減でなく急激な減に展開している現状に昭和村の未来を創る「声」にどう答えますか。

村長 若者が住める住宅の確保は重要な施策であるが、空き家を十分に活用することが優先と考える。一軒家を単身の方が管理するには負担が大きいとの声も聞かれるが数人でシェアすることも一つの手段と考えている。

村長 使用されていない建物や事務所などの

Q 9月議会一般質問した空き家・廃事務所その後の経過と、喰丸克雪センターは解体せずあのままか？

村長 使用されていない建物や事務所などの

関係者、所有者に対し現在の状況と今後の予定について、面談と聞き取りによる確認をしたが諸事情があり早急な解体や除去などの対応は困難であるとの回答を受けた。松山集落で工事中の移住定住促進空き家活用住宅を各集落に展開していきたい。克雪管理センター解体は振興計画年次計画に盛り込みながら進めていきたい。



喰丸の克雪管理センターは速やかに解体するべきではないか？

議員に聞いてみた

この質問の理由(背景にある現状など)は？

からむしと大麻

からむしと同じ植物繊維にも関わらず村の暮らしの文化と経済を支えた産物であった大麻は昨今ではタブーなものである。イメージがある。織姫制度30年を機会に、からむしと大麻の未来の姿のあり様を聞きたいと思った。

単身用住宅建設

空家コンシェルジュを経験してみても空家の現状や加速的ともいえる高齢者の死去により空家は増える。他方、昭和村に将来住みたいが住める単身用住宅はないのが現状で行政の対応を知りたかった。

空家のその後

9月議会に質問した、その後はどんな経過で現実、空家の問題は改善方向なのか。

# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問

馬場 政之 議員



**Q** 景観を阻害するナラ枯れの駆除について

**問** しらかばの森や昭和の森周辺の防除実施の可否は？

**村長** 駆除から防除へ方針を転換し、森林の範囲を定めて、健全な立木を集中して守る対策が必要。観光客のみならず、子供たちへの自然環境教育の重要な資源であり、会津森林管理署昭和森林事務所と連携を図り、森林環境保全に努めたい。

**Q** 入山の危険防止と村民への周知の必要性を問う。

**村長** 被害防止の必要性は認識している。幸い人的被害は確認されていないが、入山機会が増加する春先や紅葉シーズンには、広報誌や

ホームページ上で注意喚起を行いたい。なお、ナラ枯れに限らず、例えば村の天然記念物、矢ノ原湿原内の源兵衛清水付近など倒木の危険がある範囲には、既に進入禁止テープで対応が図られている。



矢ノ原湿原内の源兵衛清水付近の倒木

**Q** 新公会計の整備推進について

**問** 財務諸表を村民や議会に対してどのように公表説明に取り組まれるか、また、ホームページ掲載は利便であ

るが閲覧者は少ないと思う。地域づくり懇談会で説明してはどうか。村長の考えは。

**村長** 地域づくり懇談会での財務書類の説明は各地区での考え方や捉え方が異なるため、今月中旬から行う地域づくり懇談会で意見を伺いながら次年度に向けて検討したい。



地域づくり懇談会（下中津川地区）

**問** 新公会計制度の財務諸表は分析まで載っ

ている。行政に成果を及ぼしたのか村長に伺う。

**村長** 全国の比較的規模が大きい自治体で活用が始まっているが、公会計から得られる指標分析は、過半数の自治体で行われ、定着が進んでいる一方、資産管理等への活用は2割程度に留まるなど、固定資産台帳や財務書類の一層の活用方法の検討が必要とされ、行政に成果を及ぼすまでの活用には至っていない。公共施設マネジメントや適切な資産管理による将来の施設更新必要額の推計、予算編成への活用など、本村が抱える課題を解決するに当たって、客観的な根拠の一つになるものと考えられる。全国の地方公会計の活用事例を参考に検討したい。

議員に聞いてみた

この質問の理由（背景にある現状など）は？

・矢ノ原湿原に毎年来られる方が「この村はナラ枯れが多い。駆除が必要だな。まして美しい村に登録されて放置では」という一言から質問に至り対策を問いました。

・「強い風が吹く日は山に行くなよ」村の老人達からよく聞かされてきた言葉です。山中にはナラ枯れや熊に皮を剥がされ杉の木など枯れ木が多くあり、倒木などの危険性の周知と対策を質問しました。

・新公会計制度が導入され数年経ち、新財務諸表の活用は行政に成果を及ぼしているのか聞きました。

是非、持続可能な村づくりのため活用していただきたいと思っております。

# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問

羽染 豪 議員



**Q 小中一貫校について**

**問** 保育所を含めた小中一貫教育、小中学校・給食センター・保育所を同敷地建物にすべきでは？

**村長** 昭和村子どもの教育検討委員会で議論し視察研修も計画している。施設のほとんどは築40年以上経過し、特に学校給食センターは築50年と構造部分の老朽化が著しく、検討委員会結果や議員の提案なども参考にしたい。

**Q からむし織体験生事業について**

**問** からむし織体験生30周年記念シンポジウムで自立した組織設立の提案があったが？

**村長** 新たな織姫組合を作るのか、振興公社が包含対応するのか議論したい。

**問** シンポジウムで30年間、何も変わっていない、先をを考えてくれないという登壇者の発言があった。体験生・研修生をどう捉えているのか？

**村長** からむし品評会の受賞者を見ると、多くの元体験生が関わっている。生産技術が村に残った元体験生に受け継がれる傾向にあることから体験生制度の継続は必要である。

**Q 新年度について**

**問** 観光事業について博士トネルの活用は？広域観光は？

**村長** 現在事業の検証と広域観光は極上の会津あるいは奥会津振興センター、さらに近隣町村とも連携し検討する。

**問** 喰丸小入口にミラー設置を。

**村長** 設置場所を確認し、宮下土木事務所や会津坂下警察署と協議する。

**問** 観光客から飲食店、宿泊施設が少ない声が聞かれるが、新たな飲食店、宿泊施設を開業したい村出身者への補助金はないか？

**村長** 村単独事業の地域未来創設事業や国県支援事業を周知する。

**問** 物価高騰で苦しみ米農家への補助は？

**村長** 財源確保が厳しく慎重な判断が必要。

**問** 保育所入所者は増える見込みがないのに保育士募集や超過勤務が多いのはなぜ？

**村長** 職員配置は児童の年齢ごとに定められ適正配置を図るため、令和6年度採用を募集。超過勤務は朝夕の児童受入れを時間外勤務で対応のため。

**問** 総務省の地域プロジェクトマネージャー制度で保育所に常駐の専任所長を公募する予定は？

**村長** 昭和村子どもの教育検討会で意見を伺い、今後の体制を検討。

**問** 博士トネルを通るオンデマンドバスの新年度予算は？

**村長** 運行開始時期が見通せない大変厳しい状況。令和6年度の補正予算対応も視野に検討。

**問** 会津田島からのバスがなくなるという聞いた。白河市、また金山町と会津田島へ広域バスを運行するのは？

**村長** 白河市からの提案は、奥会津への観光ルートを開東圏やインバウンドをターゲットに展開する内容。

## 議員に聞いてみた

この質問の理由(背景にある現状など)は？  
9月議会から3ヶ月経ち、その後の進捗状況を確認しなかった。12月議会には行政に予算編成方針を問える大切な議論の場。予算を組んでもらえるのか、「できること」や「今はまだできない」ことを聞きたいと質問した。

からむし織体験生30周年記念シンポジウム登壇者の意見を真摯に受け止めたい。



# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問

菅家 篤男 議員



Q 昭和福祉会について

問 昭和福祉会の運営は非常に厳しい現状。ユニット館新築時の借入金返済残金額は約1億5千万円。年間9百万円の返済が運営を圧迫している。令和6年度から借入金返済を支援すべき。

【村長】 ユニット館増床時の借入金返済は昭和福祉会が基本と考える。安定した運営は職員確保が最優先。提出される村単独補助金要求調書を昭和村行政改革推進委員会で審議いただく。

Q 居住地近辺の空家・空地対策について村長の考えを伺う

【問】 自宅近くで他の人の畑の草が伸びて環境

はとても悪い。持主は草刈管理をしない。自分は無理なので草刈りを依頼して刈払い代を支払っておられる方がいる。空き家対策に加え空き地対策の必要性を感じるが、村長はどのように考えるか？

【村長】 固定資産税納税通知発送時に物件管理を依頼している。行政が関与すると公平感を失うため、区長や役員と協議が必要と思う。

Q 下中津川地区内の交通安全対策について

【問】 下中津川区長事務所近くの国道400号カーブ区間は車が鋼製ポールに衝突する事故が多く発生。先月も大型ダンプが鋼製ポールに衝突し歩道側に倒れた。歩行者がいたら重大事故となった。安全

対策を県と村に要望したい。

①カーブ区間に黄色セクターラインを引き区分を明確にすべき。②カーブ区間に鋼製ポールが設置され狭く感じる。道路の拡幅が必要。③カーブ区間に設置してある鋼製ポールの代替支柱はないのか。④カーブミラーの設置、電光デリネーターを設置すべき。

【産業建設課長】 道路管理者の会津若松建設事務所への回答は①交通規制を伴う黄色セクターラインの設置は、所管の公安委員会へ要請を検討したい。②道路改良の計画はない。③鋼製ポールは今と同じもので復旧する。④必要に応じ設置の検討を行う。

Q 防災士の育成強化について

【問】 近年、益々甚大化する自然災害。自分の命は自分で守るといった主体的な安全避難行動ができる村民を育成し、万が一の大災害に備える人づくりは大事。多くの村民が事前に知識を持つ方法として「防災士」は有効だと考える。研修や認定試験、資格取得に関する助成・補助も含めて、防災士資格者の育成について、考えを伺う。

【村長】 近年災害が多発し防災士の養成が地域防災力向上に有効であると認識され、多くの自治体で養成に取り組んでいる。各地区の考え方が異なるため区長や役員から意見を伺い検討したい。

議員に聞いてみた

この質問の理由（背景にある現状など）は？

- ・昭和福祉会が厳しい。令和6年度資金の支援をすべき。
- ・自宅そばの他人の畑の草が伸び持主は草刈りしない。賃金を払って草刈りを頼んでいる村民あり。空地対策を。
- ・事故のあった危険カーブの安全対策を強く道路管理者に要請を。
- ・災害時自分の命を守り他人を助ける人材の育成を。



8月31日防災訓練（避難所開設訓練）

# 村政を問う

令和5年12月定例会  
一般質問

栗城 敏郎 議員



**Q** 地域貢献表彰について

**問** 除雪関係者を表彰対象と考えるが村長の見解を伺う。

**村長** 只見町では道路除雪表彰として感謝状を贈呈している。善行表彰の対象として事業所からも推薦をいただき、他町村の事例を参考に検討する。

**Q** カメムシ類の害虫駆除について

**問** 「快適な暮らしの確保」の一環として支援を検討してはどうか。

**村長** 害虫対策の支援は必要性を認識している。助成を実施する自治体の取組や、駆除対策に要する費用など、情報収集しながら検討したい。

**Q** 過疎中山間地域における担い手確保について

**問** 有限会社グリーンファーム代表取締役との話し合いの場を設け、現状の把握や今後の見通し、支援などについて協議・検討を行いたいと答弁されたが、代表取締役と直接お会いし意見交換をされたのか、その顛末を伺いたい。

**村長** 本年1月に、令和4年度の現状把握と今後の見通し、支援策の要望を伺い、令和5年度にライスセンターの設備修繕としてコンプレッサーと自主検定装置の修繕を支援した。12月も意見交換を行い、代表取締役から米価の回復傾向にあるものの、資材等の価格高騰や国の支援金の減額で、大変厳しい経営状況で、職員確保も本

年4月に入社した職員が年度途中で退職し季節雇用者の増員等の調整を行い繁忙期に対応したと伺った。このことから、安定的な維持継続に対する財政支援や、人員確保に向けた支援が必要であると認識している。

**問** 役場職員が週末にグリーンファームのコンバインのオペレーターを務めたのは初めて。こうした対応は小手先で基本的な解決にはならない。人員を確保し現在の経営規模の維持は可能か認識を伺いたい。

**村長** 役場職員1名が善意により繁忙期にオペレーターを行った。次年度以降もこれで行き届くことはない。代表取締役から賃金や休暇の雇用条件等の検討を行い、ハローワーク等も利用し社員の確保に努めたいと伺っ

た。村では社員確保を支援する意味で、東京での新農業人フェアに参加し宣伝したい。さらに村開設のホームページで働く方の状況を明るく表現しながら雇用結びつける支援をしたい。

**問** ライスセンターと付随の色彩選別機が老朽化しているが更新の検討結果を示せ。



ライスセンターは平成12年整備し約25年が経過。更新時期が迫っている。

**村長** 色彩選別機は令和6年度に機器の更新を行う計画である。ライスセンターは、グリーンファームに関わりがない民間の方も利用できる施設で村水田農業で必要な事業である。

## 議員に聞いてみた

この質問の理由(背景にある現状など)は?

・他町村ではブル等の除雪従事者に感謝状を贈っているが、村にはこの様な事例は無い。  
除雪関係者に感謝の意を表すべきと考えた。  
・隣町ではカメムシ等の駆除を業者に委託した場合、補助金制度を設けている。村でも必要と考えた。  
・グリーンファームの人員不足は深刻と受け止めており、次年度の経営維持を懸念している。ライスセンターの施設が老朽化しており、先んじて色彩選機の更新が必要と考えた。



## 条例改正 出産時の国民健康保険税を軽減

出産する方の産前産後4カ月間の保険税（所得割額・均等割額）を免除する。

※多胎妊娠の場合は、出産予定日の3ヶ月前から6ヶ月間の保険税を免除する。

## 12月定例会

(千円以下切捨て)

12月定例会は、12月8日より12日までの3日間開かれ、条例改正・一般会計補正予算・特別会計補正予算を慎重に審議しました。

## 物価高騰に経済支援策

### 低所得世帯支援給付金 2,100万円

住民税非課税世帯に1世帯あたり7万円を支給

### 地域振興券発行事業 876万円

全村民に1人6,000円の地域振興券を交付



## 会津バス運行費負担金

### 88万円

川口駅から大芦間のバス運行負担金。燃料費高騰や利用者数減少により増額



昭和村と金山町で負担する総額が知りたい。



昭和村 1634万円、金山町 903万円

## 文化財調査委託料 43万円

松山にある佐々木家の歴史的な背景や家屋を調査

松山地区も保存に向け懸命に努力している



## 議案の議決結果（一部掲載）

議案名	議決結果	菅家 篤男	羽染 豪	小林 政一	栗城 徳雄	馬場 政之	栗城 敏郎	馬場 栄三	渡部 節雄
昭和村個人番号カード利用条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和5年度昭和村一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和5年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和5年度昭和村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
令和5年度昭和村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長
ミニパワーショベル（各種アタッチメントを含む）配備についての要望書	採択	○	○	○	○	○	×	○	議長
村道下中津川柳原線改良舗装工事実施に関する要望書	採択	○	○	○	○	○	○	○	議長

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長採決以外は「議長」と表記。

## 条例改正

# 村長給与条例の改正

職員の不適切な事務処理に対し、職員を指導監督する立場である村長自らの責任として令和6年2月、3月分給与10%を減額

第一回  
臨時会

1月31日  
(千円以下切捨て)

## 工事請負契約締結

# Wi-Fi 基地局設置工事

8,723万円

基地局81所・新設コンクリート柱37本・防犯カメラ10台の設置工事

## 物品購入契約締結

# Wi-Fi 基地局機器購入

5,407万円

屋外用アンテナ162台、電力供給機器の購入

## 補正予算

### 昭和の森 キャンプ場整備

493万円

圧送ポンプ更新工事

### 雪室の雪運搬 作業委託料

446万円

暖冬で雪室に搬入する3千トンの雪が確保できないため、博士峠旧道から雪を運搬する。



雪室への雪搬入作業

負担割合

J A会津よつば	200万円	生産者（積立金）	63万円
昭和村	103万円	柳津町	44万円
三島町	20万円	金山町	16万円

## 議案の議決結果

議案名	議決結果	菅家 篤男	羽染 豪	小林 政一	栗城 徳雄	馬場 政之	栗城 敏郎	馬場 栄三	渡部 節雄
村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
物品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和5年度昭和村一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長採決以外は「議長」と表記。

## ● 令和6年第1回定例会のお知らせ ●

3月8日から12日までの日程で予定されています。

今度の定例会は、村民の生活に直結する令和6年度の村予算を決めるとも重要な議会です。村振興計画に合致したものか。より少ない経費で、より多くの効果があがるような方策を講じているのかなど詳細に審議します。

また、一般質問は11日の予定です。ぜひ傍聴においでください。

教えて



# 「会津若松地方広域市町村圏整備組合」ってなあに？

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・三島町・金山町・昭和村・会津美里町を構成員とした一部事務組合です。

この組合は、消防、ごみ処理、水道用水供給などの事業を行っています。

組合の目的は、地域住民の生活環境や福祉を向上させるとともに、地方自治の発展に寄与することです。

昭和村から支払っている金額は令和5年度予算によると約1億7,000

万円で、組合事業費のうち昭和村の負担率に応じて算出されたもので、消防事業、廃棄物処理事業などに充てられています。

組合事業費は、組合市町村の人口や面積などに基づいて、負担率が決められます。昭和村の負担率は令和5年度で0.99%となっています。組合市町村の中では最も低い負担率です。



会津若松駅近くにある広域圏整備組合の事務所と消防署



組合議員の羽染豪です。

## 地区からの要望について

### ミニパワーショベル（各種アタッチメントを含む）配備

提出者 松山区長

**採択**

#### 理由

少子高齢化で普請作業の人材不足は、どの地区においても喫緊の課題であり、普請作業の負担軽減と高齢化進行に対する未来への備えとして、高齢者宅周辺の排除雪支援のためにもミニパワーショベルの配備は必要であると判断し採択とした。



野尻細越、松山上新田用水路における現地調査

### 村道下中津川柳原線改良舗装工事

提出者 下中津川区長

**採択**

#### 理由

稲作やカスミソウ栽培で頻繁に使用する道路で、除草作業等管理維持に伴う地域住民の負担軽減、作業効率化の向上を図るためにも必要であり、有事の際、国道400号迂回路としての活用も想定されるため、改良舗装は必要であると判断し採択とした。



村道下中津川柳原線における現地調査

# 常任委員会 所管事務調査

## 産業建設常任委員会

### 昭和村観光協会・村観光交流係と意見交換会

1月22日、観光協会役員6名と事務局職員、村観光交流係職員にご出席いただき、博士トネル開通効果をさらに波及させるため本村の観光振興について活発な意見交換を行いました。

#### 概要

##### 観光交流係

・昭和村を知りたい人を増やし観光客が何を求めるのか「情報」は大事であり使命。  
 ・宿泊キャンペーンを観光協会と合同で実施し村を知ってもらい村を訪れるきっかけを作ってきた。  
 ・リピート客を増やすべく令和6年度は喰丸小にちなんだ教科のイベントと博士トネル開通1周年記念イベントを実施したい。

## 観光協会

・「普段から観光客が訪れる村」になるための施策が重要と考えている。そのために村の食にスポットを当てた食めぐりキャンペーン、村の魅力が発掘されるフォトコンテストなどを継続して実施する。

## 道の駅

令和6年9月に道の駅登録から10周年の記念イベントを実施したい。六次化として草加市と協働で村産米で草加せんべい製作とクッキー製作を予定。

今後も意見交換会を通じて食事提供場所不足の課題など調査していく。



村観光協会ホームページの説明を受ける

## 総務厚生文教常任委員会

### デジタル教育・小中一貫教育を調査

小中学校連携の乗入授業の効果やICT運用状況、導入効果の調査として中学校社会科の教員が小学校で5、6年生に社会科を指導する授業を見学した。教員が電子黒板を操作し、児童一人ひとりが配布されたタブレットに入力し、グループのメンバーと話し合いながら学んでいる。講義



社会科のグループ学習

式の授業とは違い、主体的に考える力や、他者と協力して課題に取り組む力と意思決定する力が身につくとされ、ICTがそれを後押ししていることが実感できた。しかし、WiFi環境に改善の余地があるので引き続き調査していきたい。

乗入授業は児童・保護者をはじめ現場の教員も成果を実感しており、昭和村の特色ある教育ではあるが、教育効果をさらに高める小中連携環境のあり方を調査していきたい。



校長先生と意見交換

## 議長に聞いてみた



Q 「所管事務調査」ってなあに？

A 常任委員会が自主的に、村政の各分野における課題の解決に向けて、委員会が所管する事務について調査を行い、村長・教育長の執行機関に対し具体的な改善策や対応策を積極的に提言することができます。

## 総務厚生文教常任委員会

- |           |       |
|-----------|-------|
| 委員長       | 栗城 敏郎 |
| 副委員長      | 菅家 篤男 |
| 委員        | 馬場 政之 |
| 委員        | 渡部 節雄 |
| 産業建設常任委員会 |       |
| 委員長       | 馬場 栄三 |
| 副委員長      | 小林 政一 |
| 委員        | 羽染 豪  |
| 委員        | 栗城 徳雄 |

# 議員の通信簿

2期連続の無投票となった令和5年6月議会議員選挙から8ヶ月を迎えました。

その間、2回の定例会と2回の臨時会、常任委員会を開催してきましたが、村民皆さんの目には議会や議員の活動がどのように映ったでしょうか？

議会だよりでは改選後の174号で全議員が今後4年間に向けての抱負を掲載いたしました。今号ではそれらも踏まえて、民間企業や行政にも導入されている「自己評価」としてここまでの議員活動を振り返り、また令和6年に向けての思いを掲載いたしました。

議会議員8名の今後の活動に注目していただきたいと思います。



議長  
**渡部 節雄**  
(3期目)

①私は、昨年7月に議会議長に就任いたしました。

以前より、議員と議長は似て非なるものと、承知はしておりましたが、これ程異なるとは想定外のものがありました。

議長となると、対外折衝が多く、議会外との業務の比重が大変大きくなります。

この半年間、陳情活動とか、近隣市町村との情報交換、村内の各種組織、団体との対応に、慎重かつ、神経質にならざるを得ませんでした。

②今年、議員報酬の引き上げと定数削減の事案を議論の対象にしていきたいと考えております。

また、今年の議会で、気になったことの一つに議案に対する各議員の理解の程度があります。

DX等の案件は、畑違いの我々には非常に理解しにくいものですが、行政の説明不足をつくことなく、理解不足で採決に臨むのは避けるべきでしょう。

不十分なまま採決承認をしたとすれば、支持者に説明出来ず、無責任なことになるのではないですか。

- ①これまでを振り返って
- ②令和6年に向けて



副議長  
**栗城 徳雄**  
(3期目)

①村民の声を聴き、村民主役の村づくりのために努力しています。一般質問は政策に関わるものですから毎回行っています。6月の再選後も同様です。質問内容は通告してあるものの、答弁には歯がゆさを感じておりますので、更なる努力をして参ります。

②私達は、この村を未来に繋いでいかなければなりません。そのために、人・地域・自然・文化を活かす視点で、次の世代に誇りを持って引き継いでもらえるよう、安心して住み続けられる村を目指して引き続き全力で取り組みます。



議員  
栗城 敏郎  
(4期目)

①コロナが5類に移行し、議員の改選期を向え気合いを入れ意力的に望みましたが、無投票の結果となり、二期連続で有権者の審判がいただけ無かった事を非常に残念に思っています。秋にコロナに感染し、皆様方にお約束した訪問活動を自粛せざるを得なかった。

②村ではAIを活用する事業や博士トンネル開通による新事業に積極的です。率先した事業展開は脚光を浴びますが、財政面で持続可能な自治体として存続できるのか疑問の声があります。今年は更に自分の意思を明確に発信していきたいと考えています。



議員  
馬場 栄三  
(4期目)

①昨年6月改選を迎え、4期目の職責を賜りました事、重く受け止め、村民の安心・安全な暮らし、村活性化に繋がる活動に取り組んで参ります。昨年9月長年の村民の祈願であった博士トンネルが開通し、その効果を最大限発揮する事が重要です。その事に尽力します。

②本村の状況を見ると、少子高齢化に伴う人口減少と、ロシア、ウクライナ紛争に伴う物価高が暮らしを直撃するなど、直面する課題が多い。所々課題が多い中、私は一次産業の活性化が村活性化に繋がり必須と考える。農業の複合経営が重要と考え、取組んで行く。



議員  
小林 政一  
(2期目)

①6月改選により、再び議員としての活動を開始したが、自己評価となると何が基準なのか。仮に5点を満点を満点として考えれば4点位かと思う。常に5点を目標に一步一步進めたい。

②目指すは昭和村の5年10年先の未来について、日本の現状、世界の状況、経済を含め、何が昭和村に必要で何がいらぬかを分析し判断したい。ちなみに今年が龍の年、上昇の気配あり。



議員  
馬場 政之  
(4期目)

- ①
- 議員活動の基礎は、議員一年目時代、月1回1年間、会津若松市庁舎での議員研修会に出席したことです。この学習会は先輩議員の奨めもあり参加でき、現在も当時の同志と学習会や情報交換をして役立っています。
  - 入院のため1回定例会を欠席させていただきました。今でも心残りです。
  - コロナ禍が議会活動に及ぼした影響も悔やまれます。

②積極的に、二元性による議員（議会）の役割を果たしていきます。健康づくりに役立つ幾つかのグループ活動も村づくりに重要視しています。心地よく暮らせる村づくりのため、皆様の声を村政に積極的に反映していきます。冬季は雪ダルマンの訪問活動があり、皆様にお会いするのが楽しみです。



議員  
羽染 豪  
(1期目)

①自分自身の評価としては、目の前のことに一杯一杯で、議員として村のために働いているのか疑問に思う事が多々ありました。村民の皆様の良い評価をされるよう頑張っていきたいと思えます。

②まだまだ、議員として勉強することが沢山あります。昭和村議会議員として恥ずかしくない振る舞いができるよう努力していきたいと思えます。これからの昭和村について、村民の皆様、行政の皆様と共に村のために尽力していきたいと思えます。



議員  
菅家 篤男  
(1期目)

①村や集落の皆様のために、事実関係を検証し、伝えるべき真実を正確に把握して来ただろうかと考えてみました。一生懸命に取り組んではいますが、まだまだ、自己評価は30点位だと思えます。

②誠実に皆さんの思いを受け止めて、行政に質問して参ります。検討して参ります。協議して進めて参ります。優先順位があるものですから。しかし、これらの答弁にひるむ事なく、未来に明るい展望が開けて行くように努めていきたいと思えます。

## 一般質問内容について

(令和5年第1回から第4回定例議会までで質問事項の多いものを上げました)

内 容	件数
博士トンネルに関する観光を含めた利活用と会津若松方面の交通手段について	11
小中一貫校・保育体制の子育て施策について	7
(有)グリーンファーム等担い手対策などの農業について	6
空き家・空き地対策について	4
昭和ホームの支援について	4
からむしについて	3
除雪対策について	3
村長・職員の綱紀について	3
国道の交通安全対策について	3
D X推進について	2

**一般質問とは**・・・議員が執行機関（村、教育委員会など）に対し、一般事務全般にわたっての執行状況や将来の方針などについて、執行者に直接質すことをいい、質問の範囲は、村の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

# 小・中学生議会傍聴

明日の昭和村を担う児童・生徒が議会に関心を持ってくれたかな！

## 小学生の感想

いろいろなことについて話し合い、会議をしているのがわかりました。また、この村を自分たちの手で最高の村にしたいと思いました。

とても難しい話をしている、さすが議員さんと思った。

よくわからなかったけど、さすが大人の話し合いだなと思いました。環境についてなど、いろいろな話をしているすごいと思いました。

こんなふうにして村のことを決めていることが分かった。

難しく話の内容はわからなかったけど、たまにテレビで見る国会と同じように挙手→指名→質問→答弁をしている様子が見られてよかった。

住民の声と言っても一部のものだから、すべての住民に意見を聞いて規則を作らなければいけないということが改めてわかった。



## 中学生の感想

初めて、村議会の様子を見学しました。村についての様々な話し合いが行われていて、慎重な議論のもと、村の経済や条例などが定められていることがわかりました。今後は村議会などの様子をぜひ取り入れたいと思います。

普段、生活していても気がついていないことであったり、少し難しい内容でした。傍聴していくなかで、私自身あまり村に対して興味がなかったということもわかりました。村について少しでも知ることができたと思います。

## 編集後記

冬の博士トンネルを通るたび、ありがたみを感じる。トンネル化実現に向け多くの先輩方が関わりご苦労されたであろうかと。トンネルの先にある光に何を求めていくのか議員として探し続けなければならぬ。令和6年の干支、辰年は陽の気が動いて活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だと言われます。自分の足元を見ることを忘れず議員相互に切磋琢磨し、住民の利益に繋がる政策を磨いていきたい。

(羽染 豪)

## 編集委員

委員長 羽染 豪  
副委員長 菅家 篤男  
委員 栗城 敏郎  
馬場 政之